

今年度の成果と今後の課題

かくこと

—成果—

低学年

- 算数では、○やブロックを使って図をかくと早く正確に表せることがわかり、さらに矢印なども使って操作したことが表せるようになった子が多い。(1年)
- 操作することと共に、かくことが思考の助けとなってきた。
- 課題を提示すると、かくというのが、習慣となっている。
- 「まず」「つぎに」など、順序を表す言葉を入れて説明をかく子が増えてきている。

中学年

- 前時までのノートを見返し、既習を生かして自分の考えを表そうとする姿が見られる。
- 型を与えることで、かくことが苦手な子が、少しずつ考えを表現できるようになった。
- つなぎ言葉を使いながら考えをかくことで、考えが整理され、相手にわかりやすく伝えられるようになってきている。
- いろいろな図を紹介しあうことで、一人ひとりがかく図のバリエーションが広がってきた。

高学年

- かくことを楽しむ子が増えてきた。
- 図を用いて思考、立式し、答えをだす流れとして、かくことができるようになった。
- 図で表したものの説明を文章でかくことで、考えが整理され、かく力もついてきた。
- 線分図、関係図、テープ図など課題に応じて必要なものを選びかくことができるようになってきている。

なかよし

- 子どもの興味のある題材を選び、負担にならない量でかくようにしてきたので、かくことに慣れてきた。
- かくことに抵抗のある子が多いので、負担を軽くするようなワークシートを用いたり、型を提示したりすることで意欲的に取り組める子が増えた。

どの学年においても、算数ではかいて考えるという学習形態ができています。分かっていることをまず、図や絵、線分図にかいて考える習慣がついている。さらに、説明するための言葉や解説も入れようとする姿勢も多く見られている。

—課題—

低学年

- 操作したことをそのまま絵や図に表すのが難しいと感じる子がいる。
- 表記の仕方が少し違うと、「違う考え」ととらえてしまう子がいる。
- 振り返りの作文では他の考えと比べてかくのが難しい子が多い。

中学年

- 自分の考えを言葉を使って、その中に数や式を入れながらかいていくことが難しい。
- 言葉足らずであったり、説明不足であったりして、わかりやすくかくのが難しい。

○図と文章を関連させたり順序立ててかいたりするのが難しい子もいる。

高学年

○課題提示の仕方によって、なかなか考えをまとめられない子がいる。

○途中までかけるが、分からなくなってくると最後までかけない子もいる。

なかよし

○個々の特性に応じた「実生活」に生きるかく力とは何かを考えてきたが、よい方法を見つけて出すことが難しかった。

かくことが難しい子たちが、かき出せるような手立てや手助けとなる資料等の準備が必要と考えられる。

きくこと・話すこと

—成果—

低学年

○年度当初は言いたいばかりだったのが、友だちの話を聞けるようになった。(1年)

○「どうしてか」という言葉をつけて、わけを言える子が多い。

○絵や図をさしながら話せる子が、増えてきている。

○図の違いに目をつけて話せる子が増えてきている。

中学年

○自分の考えたことを途中までであっても、「ここまでは、わかるけど…」と話せる雰囲気が出てきている。(わからないことや、困っていることも言える授業)

○自分ならどう考えるかを意識して聞くことができる子が増えてきている。

○友だちの意見を聞いて、付け加えたり、よりよい考えにつなげたりしようとする子が出てきている。

高学年

○友だちの発言に頷いたり反応を返したりする子が多くなってきた。

○相手の思いや考えを受け止めたうえで、発言しようという姿勢が出てきている。

○小グループで話し合いをする機会を多くとることで、算数が苦手な子どもたちの意欲が高まった。

なかよし

○みんなが、話すことが楽しいと感じている。

○できる限り友だちの話に質問する機会を多く持つことで、友だちの話を聞こうとする姿勢が育ってきている。

声の大きさ、みんなの方を向いて、区切りながら、絵や図をさしながらなど、みんなに伝える話し方をどの学年でも指導しているので、相手に伝えることを意識できるようになってきている。聞き手も、相手の考えを理解しようという意識を持って聞けるようになってきている。

—課題—

低学年

- 語彙が少なく、自分の考えをうまく説明できない子がいる。
- 学習に集中できず、聞けていない子もいる。
- 自分の考えで精一杯で、人の考えを知ろうとしない子もいる。
- みんなを巻き込むような発言ができない子もいる。

中学年

- 考えを人にあずけ、ぼんやりときいている子がいる。
- 自分の考えを言葉で表すことが苦手で、指名しても黙ったままの子がいる。
- まだまだ、自分の考えと比べてきくのが難しく、つなげて話し合うのが難しい。
- 人を意識しながら話すのが難しい子もいる。

高学年

- 自分の中で理解できていることも、説明するときに言葉足らずになったり語彙が少なかつたりするため、うまく伝わらないことがある。
- 分からないことを質問できる子がいる反面、そのままになっている子が多い。
- 一斉学習で、周りを巻き込んだ話し合いにもっていくのは難しい。

なかよし

- 集中力が保てなかったり、興味が薄かったりすると話を聞くことが難しくなる。
- 話せる言葉が少なく日常生活で使用する言葉が固定されているため、考えていることを話すのは難しい。

きく態度は、ある程度育っているものの、自分の考えと比べるなど主体的な聞き方ができる子はまだまだ少ない。また、語彙の少なさが表現することを難しくさせている。

「かくこと」「きくこと・話すこと」について、研究を進めてきた。それぞれの学年での実態を出し合い、どんな手立てがよいのかを話し合っ、試行錯誤を続けている。

来年度も、引き続き、いろいろな場で子どもたちの語彙を増やす取組をしつつ、思考力を高めるための「かくこと」「きくこと・話すこと」について、研究を進めていきたい。

低学年

考えノート


◎自分の考えたことや、思いついたことをどどんかいていこう！

☆絵や図をつけて
☆じぶんの考えをくわしく、考えたじゆんにかいていく。

♪つぎのことをつかうとききやすいよ

・はじめに	・つぎに	・どうしてかというと	・たぶん
・ばん目にも～	・2ばん目にも～	・できなかったの	


○とちゅうまでいいよ。わかるころまでかいてみよう。
・わかるころ ・なやんでいるころ ・こまつたころ



みんなすうきくぶん
算数作文

◎学習を思い出してかこう。
○学習して～がわかつたよ。
○こまつたことは～です。
○～さんの考えは・・・です。
○つぎは～をしりたいです。

☆友だちのいけんもしつかりかこう。
☆読みかえしたとき、その学習やじぶんの考えを思い出せるようにかこう！




中・高学年用

考えノート

◎自分の考えたことや、思いついたことをどどんかいていこう！

☆絵や図や表を使って
☆言葉や数や式を使って
☆自分の考えをくわしく、考えた順にかいていく。




♪次のような言葉を使うとききやすいよ

・まず	・はじめに
・つぎに	・それから
・やってみると	・でも
・できなかったの	・だから
・わからないのは	・たぶん
・なぜかという	・ちがうやりかたは
・たしかめると	

○とちゅうまでいいよ。
○わかるころまでかいてみよう。


・わかるころ
・なやんでいるころ
・こまつたころ



算数作文

◎学習を思い出してかこう。

○学習して～がわかつたよ。
○わたしの考えは～だつたけど。
○～さんの考えとちがって～。
○～さんの考えとにいて～。
○～さんの考えと比べると～。
○今日の学習で一番わかつたのは～。
○こまつたことは～です。
○むずかしかつたことは～です。
○はじめと考えが変わって～。
○次は～を知りたいです。
○もっと知りたいことは～です。



☆友だちの意見もしつかりかこう。
☆読みかえした時、その学習や自分の考えを思い出せるようにかこう。
☆なるほど！と思つた友だちの考えを、かき残しておいてもいいね。
(絵や図や文などで)

